入っ子

R4年度　学校だより　No.　4
令和４年６月２３日発行
入野小ブログ　毎日更新中
ホームページアドレス　http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/irino-e/

６月は「命を大切にする月」

紫陽花が色鮮やかに咲く季節となりました。
学校では、水遊びや水泳の学習が始まり、プールからは子供たちの楽しそうな声が響いてきます。１学期も残すところあと１か月となりました。１学期をしっかりと締めくくり、充実した夏休みにつなげていけるよう、職員一同努めてまいります。引き続き御理解と御支援をよろしくお願いします。

６月「いのちについて考えよう」

浜松市では、６月 12 日を「いのちについて考える日」として、市内の小中学校で様々な取組を行っています。入野小学校でも、すでに、次のような３つの取り組みを行いました。
まず、３日（金）の朝会で、校長が命について子供たちに話をしました。

「自分の命も　友達の命も大切にしよう」　～朝会での校長の話から～

私は、優しくて温かい入野小学校のみなさんの中には、いじめはないと信じています。でも、もしも悪口を言われたり、仲間外れにされたりしてつらい思いをしている友達がいたら、見て見ぬふりをしないで、自分にできる方法で友達を守ってあげてください。そして、自分の命も、友達の命も大切にしていきましょう。

８日（水）には、玉城ちはるさんをお迎えして、はごろも「夢」講演会「命の参観日～共に生きる～」と題した講演会を４年生以上対象に行いました。玉城さんは、ホストマザーの経験から学んだこととして、

自分とは、ちがう人を排除しない。
どう共に生きるかを考えることが大切。そのためには、
“対話”が大切。あなたの気持ちを言葉にして伝えて。

というメッセージを伝えてくださいました。
玉城さん考案のけんかをしても、仲直りができる**”やさしさ貯金ゲーム”**の体験もしました。それは、直してほしいところといいところをセットにし、**「ありがとう(感謝)、ごめんね(反省)。大好きだよ(愛情)。」と伝える**ゲームでした。**「けんかをしたとき、相手の直してほしいところだけを言うと、いやになる。だから、いいところとセットにして伝え、改善点を提案する。そうすれば仲直りできる。」**という説明に、子供たちは、みな納得していました。早速、教室や家庭で実践した子もいたようです。

シンガーソングライターでもある玉城さんは、歌を交えながら講演を進め、**「人のために、自ら動き出せる人に、困っている人に手を差し伸べられる人になって。」**というメッセージも併せて伝えてくださいました。明るく、分かりやすく、子供たちに**人と共に生きるということは、どんなことなのか**を考えさせ、大いに前向きな気持ちにさせていただく時間となりました。

また、10 日（金）を「入野小学校　いのちについて考える日」として、各学級で命について考える学習をしました。
５年２組の教室では、「いじめられている人の気持ちを考えよう」というめあてで、役割演技や話し合いを交えて、いじめの問題について考えていました。

このような取り組みを通し、入野小の子供たちには、自分のことも、友達のことも、自分とは考えの違う人のことも、大切にできる人になってほしいと思います。
そして、どんな人の命も大切にできる人に成長していってほしいと思います。